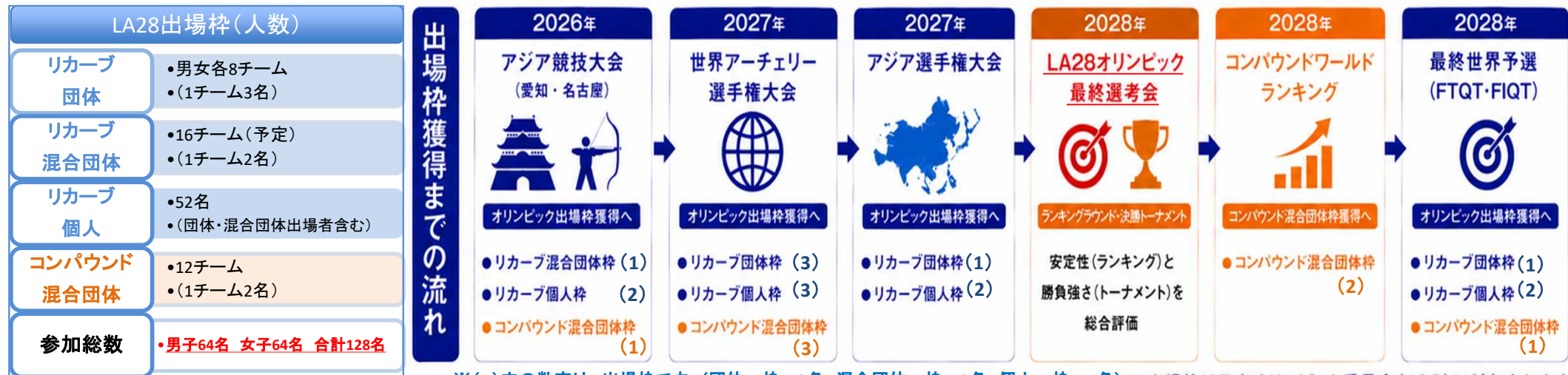




第34回オリンピック競技大会(LA28)

アーチェリー日本代表選手選考の流れ

日本代表は、2026年から2028年までの国際大会と国内選考会を経て、2028年の最終選考会で決定されます。



※()内の数字は、出場枠です。(団体:1枠=3名、混合団体:1枠=2名、個人:1枠=1名) ※出場枠は日本オリンピック委員会(JOC)に付与されます。



出場枠獲得 ≠ オリンピック代表内定

出場枠を獲得した時点では、日本代表内定ではありません。
ロサンゼルスオリンピック2028年日本代表内定は、
2026年から2028年までの国際大会と国内選考会を経て、
2028年の国内最終選考会で決定されます。

出場枠を獲得した選手の取り扱い

出場枠獲得
国際大会で
出場権を獲得

★ナショナルチーム選手(コンパウンドは強化指定選手)
2028年まで
継続して指定・強化
の対象となります

★最終選考会の
シード権獲得
最終選考会の
シード権が付与
される

★最終選考会
代表内定
選考会で
代表枠を獲得

日本代表決定
JOCが正式に
発表後
日本代表選手
となる

主な国内選考スケジュール(予定)

2026年	2027年	2028年
4月 アジア競技大会 最終選考会	4月 世界アーチェリー選手権大会 最終選考会	4月 LA28オリンピック 最終選考会
10月 全日本ターゲット 選手権大会	10月 全日本ターゲット 選手権大会	
11月 2027年 ナショナルチーム 選考会	11月 2028年 ナショナルチーム 選考会	

※スケジュールは変更となる場合があります。

選考のポイント

- ✓ オリンピック出場枠は選手個人ではなく、NOC(JOC)に付与されます。
- ✓ 出場枠を獲得しても、その時点では日本代表内定ではありません。
- ✓ 出場枠を獲得した選手には、最終選考会のシード権が付与されます。
- ✓ ランキングラウンドの安定性と、トーナメントでの勝負強さの両方を評価します。
- ✓ 個人戦・団体戦ともに、ロサンゼルスオリンピックでメダル獲得が期待できる選手を選考します。
- ✓ 上記に加え、MQS (Minimum Qualification Score) の基準をクリアすることが必須条件です。

※MQSの基準は、IOCが定める条件に基づきます。

種目別カラー

■ リカーブ ■ コンパウンド



リカーブ(青文字)

- 団体枠
- 個人枠
- 混合団体枠



コンパウンド(オレンジ文字)

- 混合団体枠

全日本アーチェリー連盟は、オリンピックでのメダル獲得を目指し、最強の日本代表チームをつくりまします。